

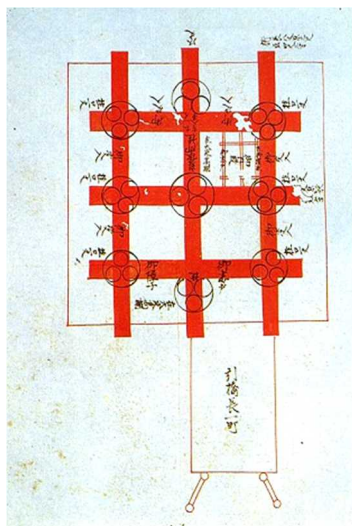
しろくま通信



前回より「神無月」について書いています。

昔の出雲大社は、太くて長い柱に支えられた巨大神殿だったと言われられてきました。出雲大社の宮司家には、古い時代から伝わる「金輪御造営差図 (かなわのごぞうえいさしず)」という、平面設計図があります。今世紀の初めに本殿のあたりを発掘調査してみると、金具で縛られた三本の柱が出てきました。三本束ねた柱は直径が約 3 メートル、正面の階段の長さは約 109 メートル。

金輪御造営差図



三本の柱



今回発見された柱は、平安時代から鎌倉時代(今から約 700 年前)に建てられた本殿の柱で、そのころあった建物の中では、日本で一番背の高い建物だったかもしれませんね。



前回のしろくま通信はホームページで観覧できます

<https://babayakkyoku.com/>

ホームページは「しろくま薬局」ですぐに検索！！

